

CSR

Environmental Report 2021

かけがえのない地球を守るため、私たちが今できることを・・・



トップメッセージ



かけがえのない地球を守るため、
私たちが今できることを・・・

小林クリエイティブ株式会社

代表取締役社長

小林 友也

平素は各段のご高配を賜り誠にありがとうございます。

今年度より本報告書にて当社の SDGs への取り組みを報告していくこととしました。初年度としては私たちの SDGs 宣言と取り組むゴールをご紹介します。なお 2020 年度に実施しました CSR 諸施策や環境活動とそのパフォーマンスデータについても引き続きご報告しております。

2020 年度は、コロナウィルスに翻弄される一年となりました。世界中で多くの人命が失われ、各国主要都市で実施されたロックダウンにより人の往来、物の往来が停滞し、経済的にも大変な打撃を受けることになりました。各国の大胆な経済政策により、市場に多くのキャッシュが流れ込みましたが、それが株価の高騰に繋がり、必要なところに資金が届かない歪んだ経済状況が生まれる結果となりました。今後ワクチン接種が開始されコロナ禍が収束に向かったとき、持ち出した国庫の回収を急げば一層経済の冷え込みを加速させる事が考えられます。

日本経済においては、外食産業、観光業を中心に大きな落ち込みを見せ、経済成長よりも命を守る行動にフォーカスされた一年だったように思います。ただ、足元ではモビリティの変革によって自動車産業の成長はかつての勢いを取り戻しつつあり、業界によって明暗がくっきりと分かれる状況になっています。

当社においては印刷、サプライ分野で大きくマイナスになったものの、情報処理分野、システム分野で売上を下支えする結果となりました。コロナ禍の後に来る世界において、コロナ禍以前の業態に戻る事は考えづらく、With コロナ、After コロナの時代に応えるサービスを開発、提供し続け、収益向上を目指し、スピード感をもって事業に取り組んでいく必要を痛切に感じています。

環境活動の面では、当社としてはひきつづき環境スローガンである「かけがえのない地球を守るため、私たちが今できることを・・・」を掲げ、地球温暖化対策 (CO2 削減)・省エネルギーの実現に全社一丸で取り組んでまいります。具体的には、原材料の調達・開発・製造・輸送・廃棄 (リサイクル) のプロセスにおける環境負荷低減活動に向けた取り組みを「環境マネジメントシステム (ISO 14001 認証)」により計画実行していきます。また、地域貢献及び地域社会とのコミュニケーション活動として、愛・道路パートナーシップへの参加、環境クリーンキャンペーンを実施していきます。

最後に、当報告書の発行に際し、ご協力を頂きました関係各位へ誌上ではございますが厚く御礼を申し上げます。本報告書を御高覧いただき、皆様からのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

SDGs 宣言

小林クワイートの「SDGs 宣言」を行いました。

私たちは
「SDGs (Sustainable Development Goals) 」
に賛同し
会社と世界の人々の生きがいを創造します。

取組内容



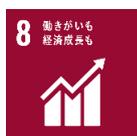
森林資源保護のため、全社で排出される紙資源のロス低減を図ります。



業務継続の重要性を認識し、強固な生産体制を築くとともに、省エネルギーへの取組みを継続します。



情報格差の是正のため、当社が提供する製品へのユニバーサルデザインの利用を積極的に推進します。



既存事業分野の高収益化と、新分野への積極的な挑戦によって、高付加価値製品、サービスを提供し続けます。

具体的な目標を定め、持続可能な社会の実現に貢献していきます。
また、活動内容は今後「CSR・環境報告書」で報告していきます。

環境方針・推進体制

全ての事業活動において『環境負荷の低減』『環境関連法規制の順守』『顧客からの環境関連要求事項の順守』によって、現在および未来の環境保護活動への貢献を目指します。

小林クリエイト株式会社 環境方針

小林クリエイト株式会社は、記録用紙、ビジネスフォーム製品の製造・販売、情報処理サービスなど、全ての事業活動において、経営者及び社員一人ひとりが現在及び未来の地球環境を守ることに貢献します。

環境方針

1. 環境目的・環境目標を定めて見直し、環境マネジメントシステムの自主的な維持向上と運用を通じて継続的な改善と汚染の予防に努めます。
2. 省資源、省エネルギー、環境関連物質による環境負荷の低減、廃棄物の削減、資源のリサイクル化を積極的に推進します。
3. 全従業員に環境教育を実施し、社員一人ひとりの環境活動に対する意識の向上を図ります。
4. 環境保全活動・生物多様性保全活動への積極的な参画による地域社会との共生、環境配慮型商品の開発と提供を通じて、豊かで持続可能な環境社会の実現に貢献します。
5. 環境関連法規制及びお客様からの環境関連要求事項等、当社が認める他の要求事項を順守します。
6. 環境マネジメントシステムは、本社・本社工場、安城工場、東京情報処理センターで運用を行います。
7. 環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般への開示を行います。

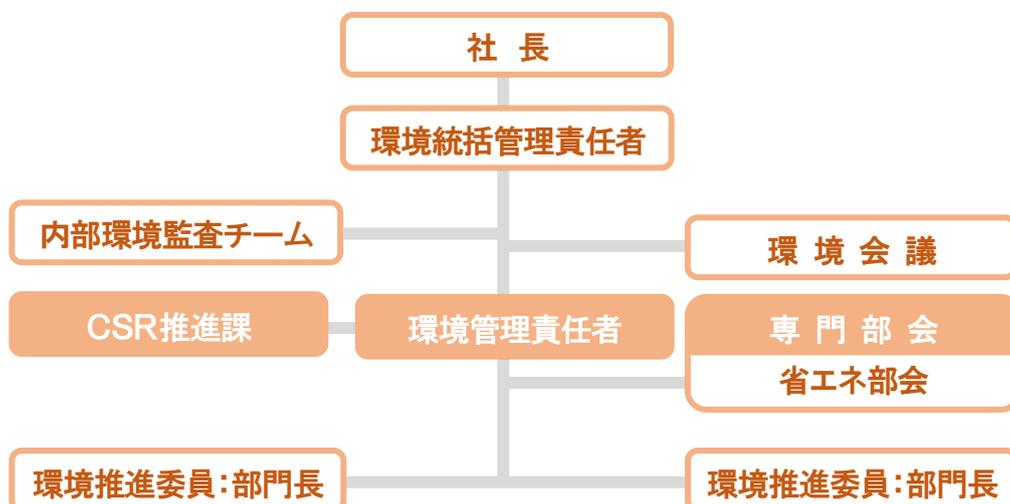
制定日 2000年 3月24日

改定日 2015年10月 1日

【環境スローガン】 かけがえのない地球を守るため、私たちが今できることを…

環境マネジメントシステムの推進体制

環境マネジメントシステム推進組織図



当社は、環境保全活動を継続的に実施するため、左記の推進体制により、活動を実施しています。活動は、部門単位（または部門の集合単位）で任命された環境推進委員（部門長）を中心に進めています。また、専門部会を設置し、全社的な取り組みを実施しています。

コミュニケーション

要望・苦情

要望 地元ボランティア団体に
余剰カレンダーの提供を
行いました。



苦情 苦情は、ありませんでした。

余剰カレンダーの提供

社会貢献活動 地域とともに

新型コロナウイルス感染拡大時期における取組み

医療従事者の方へ向けた応援として、藤田医科大学病院様へ当社の植物工場「富士ベジ工房」で栽培した「カットレタス 300個」に「社員から募った応援メッセージ」を添えてお届けしました。



当社「富士ベジ工房」で栽培したレタスを地元の児童養護施設様と老人ホーム様へ毎週 12 kgを3月から5月までの間、継続的に無償提供しました。



介護の現場（老人ホーム・訪問介護）で必要な物資が不足する中、代替品の簡易型エプロン製作用資材（不織布）を刈谷市社会福祉協議会様へお届けしました。



口腔ケア・排泄介助作業の現場でご利用いただきました。



環境クリーンキャンペーン

本社・本社工場、安城工場にて定期的に職場近隣の清掃活動を実施しています。



内部監査

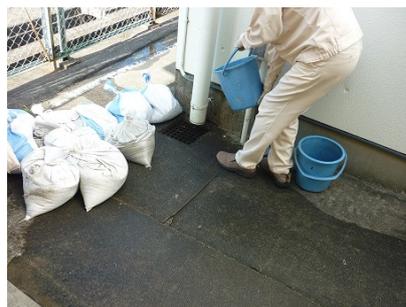
2020年度は、延べ18名の内部監査員により、環境管理責任者、推進単位、専門部会に対して内部監査を実施しました。内部監査では、マネジメントシステムの有効性に重点を置いた監査方法を取り入れております。

年度	対象部門	是正要件件数	観察事項件数	肯定的観察事項件数
2018年度	10部門	4件	19件	9件
2019年度	11部門	1件	32件	10件
2020年度	12部門	2件	17件	11件

環境リスク

緊急事態への対応

本社・本社工場、安城工場において、環境リスクが大きいと想定される緊急事態を特定し、直接又は間接要因で起こりうる有害な環境影響を予防・緩和するための手順を定めています。年に1回、主管部門が緊急事態の対応テストを実施し、手順の有効性を確認しています。



発生場所	想定される緊急事態	生じる環境影響
本社・本社工場		
三次処理施設	処理不能物の投入、装置故障、配管の破損・破裂による規制値オーバーの汚水の流出	水質汚濁 土壌汚染
廃油缶	廃油回収作業ミス、廃油缶の転倒・破損による防油堤外への廃油の流出	
ドラム缶（廃洗浄液）	ドラム缶の破損転倒による防油堤外への廃洗浄液の流出	
水処理装置（水棒ピット）	装置の故障による規制値オーバーの汚水の排出	
廃液保管庫	廃液回収装置の破損・取扱不備による防液堤外への廃液の流出	水質汚濁 土壌汚染 悪臭
安城工場		
三次処理施設	処理能力の低下、処理不能物の投入、装置故障、配管の破損・破裂による規制値オーバーの汚水の流出	水質汚濁 土壌汚染
危険物屋内貯蔵所	貯蔵所倒壊、容器破損による溶剤、油の流出	
廃糊コンテナ	コンテナ・防液堤の破損による廃糊液の流出	

発生事故とその対応

本年度に発生した事故が2件ありました。

事象	原因	対策
インキを乾燥させる紫外線硬化装置（UV照射器）から用紙に引火し火災が発生した。	UV照射器の反転動作に異常が発生し、用紙が停止している状態で照射されたため高熱により用紙に引火した。	UV照射器の反転動作に異常が発生した場合は警告音を鳴らし、警告音と共に電源が切れるようにした。
工場内に配線されている電源ケーブルから発火し、近くのビニールカーテンに燃え移り火災が発生した。	電源ケーブルの老朽化および消防点検のため火災報知器警報を一時的にOFFにしていた。更に休日の為、工場内無人により発見遅れとなった。	火災監視システムの導入など消防設備対策を講じる具体的な計画を立て、実行することとした。

環境パフォーマンス

環境への改善活動を効果的に進めていくために、自らが発生させている環境への負荷やそれに係る対策の成果を常に把握し監視しています。

化学物質管理 (PRTR 法該当物質取扱量内訳)

物質名	取扱量(kg)	%
トルエン	281	49.3
1,2,4-トリメチルベンゼン	152	26.7
マンガン及びその化合物(マンガンとして)	46	8.1
1,3,5-トリメチルベンゼン	21	3.7
その他	70	12.3
合計	570	100

エコバランス

当社が2020年度の事業活動を行うにあたり、投入された資源の量と発生した環境負荷を集計しました。

INPUT

エネルギー	電気	12,879 千kwh
	都市ガス	270 千m ³
	LPガス(オートガス)	4 t
	ガソリン・軽油・灯油	32 kL
原副材料	原紙	17,949 t
	インキ・糊・溶剤	218 t
	フィルム・版材	7 t
	梱包材 など	691 t
水	上水	10 千m ³

小林クリエイト株式会社

本社・本社工場
安城工場
東京情報処理C

製品

OUTPUT

廃棄物	総廃棄物量	3,977 t
	焼却・埋め立て廃棄物量	60 t
	ヤレ紙発生量 (紙へのリサイクル)	2,769 t (2,469 t)
排水	処理水量	9 千m ³
CO ₂	CO ₂ 排出量	6,862 t CO ₂

パフォーマンスデータ

エネルギー投入量	単位	本社・本社工場			安城工場			東京情報処理C		
		2018	2019	2020	2018	2019	2020	2018	2019	2020
電気使用量	千kwh	10,643	10,391	9,864	2,183	2,128	1,825	1,127	1,125	1,191
ガス使用量	千m ³	258	260	248	31	25	22	-	-	-
排出量データ	単位	2018	2019	2020	2018	2019	2020	2018	2019	2020
CO ₂ 排出量	t CO ₂	5,813	5,683	5,312	1,130	1,088	918	598	598	632
総廃棄物量	t	3,088	3,249	3,115	786	740	651	199	143	211
インキ廃棄量	t	4.4	4.0	3.4	0.3	0.3	0.2	0.6	0.7	0.7
糊廃棄量	t	3.5	4.2	2.4	0.0	0.0	0.0	-	-	-

CSRの取り組み

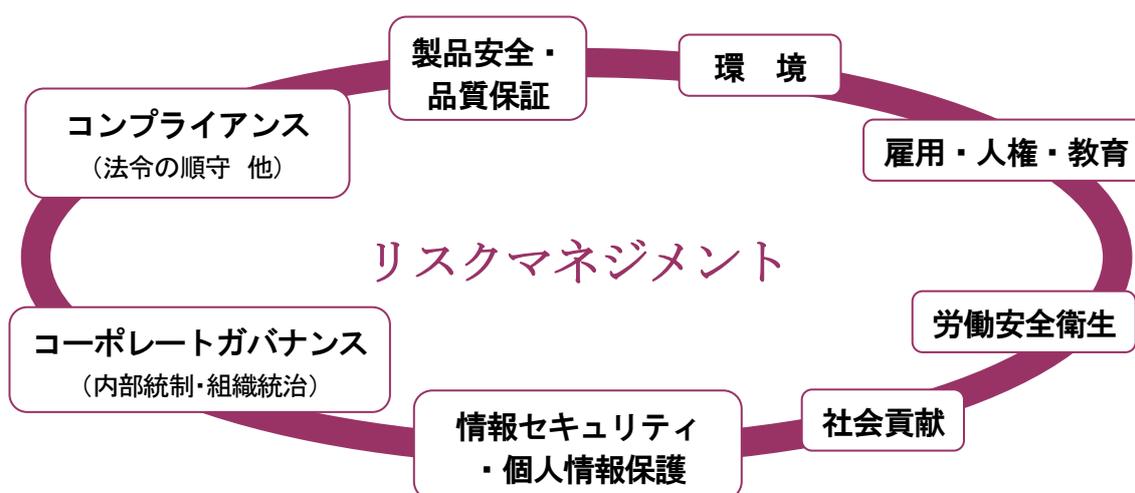
当報告書では、当社が推進してきました“CSR”として包括される諸事項について、施策毎の切り口より、これまでの主な取り組みや体制及び直近の主要な取り組みの内容についてご報告しています。

小林クリエイト株式会社のCSR

当社のCSR推進における基本は「社訓」「経営理念」とし、各施策やマネジメントシステム毎に適切な基本方針を設定し運用しています。

社訓・経営理念

CSRの推進に当たっては、創業以来『社訓』として掲げてまいりました「誠実・感謝・和協・愛情・奉仕」を基調に、『経営理念』を掲げ、社員への自覚を啓蒙しています。



コーポレートガバナンス、コンプライアンスへの取り組み

当社は、取締役会、監査役会設置会社として経営に関わる内部統制を行っています。

品質管理への取り組み

製品製造に関わる全工程においてISO9001（品質マネジメントシステム）認証を取得しており、“お客様にご満足頂ける製品・サービス”のご提案・ご提供を目指してまいります。

リスクマネジメントへの取り組み

「リスクマネジメント基本規程」を制定し、会社を取り巻く各種のリスクを評価し取り組むべき課題を明確にしています。

労働安全衛生の取り組み

法令を順守し、さらに職場における危険性や有害性を調査し、その結果に基づいて災害防止策を講じています。

情報セキュリティ・個人情報保護への取り組み

お客様からお預かりした情報（データ）や個人情報の機密性を最大限に確保することを重要な課題と位置づけ、プライバシーマーク認証、ISO/IEC27001（情報セキュリティマネジメントシステム）認証を取得し確実な運用と継続的改善を進めています。

小林クリエイイト株式会社

<http://k-cr.jp>

本社 〒448-8656 愛知県刈谷市小垣江町北高根 1 1 5 番地
TEL 0566-26-5310 FAX 0566-26-5308

お問い合わせ先

CSR推進課

〒448-8656 愛知県刈谷市小垣江町北高根 1 1 5 番地
TEL 0566-26-5201 FAX 0566-26-5399
e-mail csr@k-cr.jp



認証サイト：本社及び本社工場 安城工場
東京情報処理センター